

校長講話「いろいろなよさを見つけよう」—春のなかよし週間によせて—

令和5年6月16日

みなさんおはようございます。

この写真は6月6日、校舎の煙突の中にある巣から、巣立ったばかりのチョウゲンボウの幼鳥です。まだ上手に飛ぶことができずに校舎2階の窓にぶつかり、枝にうまく止まれずに地面に落ちたりして、ようやくブランコの上の桜の木にしがみついたところの写真です。軒先の燕の巣の中のひな、田んぼのオタマジャクシなど、いろいろな命が誕生し育っていく季節になりましたね。

さて、4日の運動会はそれぞれの競技や演技に全力を出し切ろうという姿に、がんばる勇気をもらい、とても感動しました。みなさんありがとうございました。

それでは、今日は山の写真を見てください。

まずは、朝起きて部屋のカーテンを開けると見える山です。

わかる人はいますか。とんがった山が見えます。「宝剣岳」です。上伊那の多くの中学生が登山する、木曾駒ヶ岳の手前にあります。普段はよく西駒と呼ばれています。

次は「経ヶ岳」南箕輪中学校の生徒は毎年5月に、ふもとの大芝高原から経ヶ岳までを駆け上がる強歩大会をしています。三角形の稜線がとてもきれいです。

次は「高鳥谷山」手良小学校の教室の窓からよく見えます。私は小学校とき秋の遠足で登りました。頂上が開けていてとても眺めがいいところです。

最後は皆さんよく知っているやまです。「仙丈ヶ岳」です。南アルプス女王といわれています。この手良からとてもきれいに見える山ですね。

南アルプス・中央アルプスに挟まれたこの伊那谷から見える山は、高鳥谷山のように里山として愛される山から、経ヶ岳のように2000メートルを超える山、そして仙丈ヶ岳、宝剣岳、駒ヶ岳のように3000メートル級の山と様々ですが、それぞれの山の長めの美しさ、きれいな水や山菜など山の恵みをもたらしてくれる、それぞれのよさがありますね。

おまけにもう1枚。この山の名前はわかりますか。

実はこの山も「仙丈ヶ岳」です。この写真は、私の家がある駒ヶ根から見える仙丈ヶ岳です。私にとっての仙丈ヶ岳はこんな風に見える山で、1枚の壁のようにそそりたつ険しい山のイメージです。これまではどちらかという山の厳しさ力強さを感じていました。

ところが、手良小学校に来て、ここから見える仙丈ヶ岳を見ると、緩やかな稜線が広がりとてもやさしい感じがしました。これまで私がみてきた仙丈のイメージとは違って、南アルプスの女王といわれることが納得でき、これまで以上に仙丈という山が好きになりました。

この4枚の写真は、違う場所から撮った仙丈ヶ岳です。見る場所によって見え方がいろいろですが、どれもいいなあと思います。

同じ場所から見ても、春夏秋冬、季節の違い、晴れ、曇り、雨、天気の違い、朝、昼、晩と見る時刻の違いなどによっても見え方は違って、きっと見る人それぞれにお気に入りの仙丈ヶ岳の景色があるのだと思います。場所、季節、時間、天気などによって様々な見え方があります。

このように山は一つ一つの山は違って、それぞれにわたしたちの暮らしとのかかわりや美しさがあります。そして、同じ山でも様々な見え方があり、見る人それぞれが感じる、かっこよさとか美しさがあります。また、同じ人が見ている、見る角度や季節・時間の違いで、また別のかっこよさや美しさを感じるものです。

このことは「山」だけでなく私たち「人」でも同じです。手良小の80人がみんな違って、一人ひとりのいいところをもっています。そして、いつもよく知った友だちであっても、毎日新しい学習・活動を一緒にしていると、これまで知らなかった友だちのよさを見つけることがたくさんあると思います。

そんな友だちのがんばりや、いいところをたくさん見つけて、お互いに伝えあい、みんなが笑顔になれるようになってほしいと思います。

さて、手良小学校では6月19日（月）～6月23日（金）の一週間で『春のなかよし週間』として縦割り清掃や児童会の手良っ子集会などを行います。この週間のなかで「みんな好き、みんななかよし」になれるように、今話したように自分や友だちについて考え取り組んでみてほしいと思います。以上で終わります。